

## モンゴルのゲル

問合せ 自治振興課

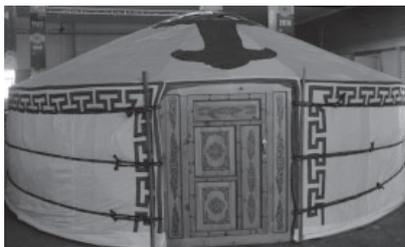


昔から、モンゴルの遊牧民は季節によってもっとも放牧に適した場所を選んで、家畜とともに移動しながら暮らしています。大草原を移動して生活する遊牧民が住むのは「ゲル」という組み立て式の民族住居です。移動する時にゲルをいくつかの部材に解体し、ラクダ車や牛車に乗せて運んでいましたが、現在はトラックを使っています。

組み立てるのに大人2~3人で1~2時間ほどかかり、完成すると大きさは直径4.5~6.5mで基本的に

南向きに建てます。(解体は1時間くらいで終わります。)

ゲルの内側ですが、扉を入れて正面がもっとも重要な場所で祭壇が設けられています。祭壇の真下がお父さんの座る場所です。どんなに偉い人が訪問しても、その家庭を尊重しお父さんの下座に座るのがマナーです。扉を入れて右(ゲルの左側)が女性や子どもの座る場所ですが、食器などを置いています。入って左(ゲルの右側)が男性の座る場所と決まっており、馬具などを置いています。



ゲル

### ゲルの部材

- 床：木で作られています。
- 円形の壁：折りたたみ式の円形の壁も木で作られています。壁の骨組を作るのに釘の代わりに、ラクダ・馬・牛などの皮を使っています。
- 扉：扉は木で、扉固定用のロープなどは馬の尻尾やたてがみでできています。
- オニ：80本くらいのオニという細くて長い木がゲルの屋根部分になります。
- バガナ：2本の柱 ●トーン：天窓
- ウルフ：天窓用カーテン ●ブレス：被せる白い布
- トゥールガ：防寒用のフェルト(季節によって枚数の増減で調整)
- ブス：馬の尻尾やたてがみで作られたベルトなど



国際交流員のオギー

泉佐野市も本物のゲルを持っていることを知らない人が多いと思います。友好都市であるモンゴル国トウブ県から寄贈されたゲルは、稲倉青少年野外活動センターに保管されています。興味のある人はぜひ、ゲルを組み立てて宿泊してみてください。

### 今月のモンゴル語

Нүүдэлчин (ヌーデルチン)：遊牧民  
 Гэр (ゲル)：ゲル  
 Ахуй амьдрал (アフィ・アミドラル)：生活

夏は扇風機やエアコン、寒くなる石油ストーブなど、身近な製品で重大事故が多く発生しています。「まだ使えるんだからもったいない」と、故障して動かなくなるまで使う人は多いと思います。また年を取ると、新しい製品の使い方覚え直すのは面倒と思い、使い慣れた製品を使い続けるということもあります。

しかし、40年余り使っていた扇風機の内部の部品が劣化して出火し、住宅が全焼する火災がありました。そのため、日常生活で用いる製品の中には普段の手入れや観察で故障などの兆候を見つけたことが出来る物もあり、経年劣化など注意喚起の表示を行い、消費者に適切な行動を促す長期使用製品安全表示制度が平成



### 長期使用製品に注意

何か困った時は、消費生活センターへご相談ください。

設計標準使用期間は概ね10年と設定されていることが多く、その前後に点検のお知らせが来ます。点検は有料で、点検基準に適合しているかを確認するものであり、整備や修理は行われません。製品購入時には所有者登録を行い、点検通知が来れば、有料になりますが点検を受け、製品の安全保守に努めましょう。

### アドバイス

21年に施行されました。動きが遅くなった、モーターから異音が出る、発熱する、焦げ臭いにおいがするなど異常な症状が出てきたら、使用を中止する、電源プラグを抜くなどし、専門の業者に相談しましょう。

また、消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の恐れがあるものについて、事故の未然防止のため、長期使用製品安全点検制度も同時に施行されました。

製品をいつ頃まで安全に使用でき、点検を行うべきかを製造年月を基準日とし、住宅環境、条件、頻度を加味して耐久試験などを行い、事故などの発生する可能性が低い事を確認した設計標準使用期間が設定されています。